



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年7月29日

上場会社名 ニチュ三菱フォークリフト株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7105 URL <http://www.nmf.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) ニノ宮 秀明  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 CFO (氏名) 中村 真明 TEL 075-951-7171  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	53,117	△11.4	2,243	△6.3	1,333	△46.1	619	△55.2
28年3月期第1四半期	59,949	△31.5	2,393	△42.9	2,473	△34.1	1,383	△19.8

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △3,986百万円 (-%) 28年3月期第1四半期 2,682百万円 (166.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	5.82	5.80
28年3月期第1四半期	13.00	12.97

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	191,227	52,991	26.9	484.14
28年3月期	192,163	58,199	29.5	532.04

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 51,516百万円 28年3月期 56,612百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	11.00	11.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	235,000	△3.1	11,000	9.1	8,500	△11.5	4,500	△4.5	42.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有  
 連結業績予想の修正については、本日（平成28年7月29日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式及びA種種類株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	106,466,013株	28年3月期	106,466,013株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	58,867株	28年3月期	58,867株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	106,407,146株	28年3月期1Q	106,392,186株

（注）期末発行済株式数及び期中平均株式数の算定には、A種種類株式を普通株式と同等の株式として含めております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国が底堅く推移しているものの、中国・新興国の成長鈍化、英国のEU離脱決定による影響への懸念など、先行き不透明感を強めております。日本経済は、景気の緩やかな回復傾向が継続していましたが、このところの為替相場と株式市場の不安定な動きなどにより、国内景気は先行きが見通せない状況となっております。

このような状況下、当社グループは国内市場において、物流の高度化・効率化やソリューション提供等お客様のニーズに適切に対応していくことで、一層の売上増加、シェアアップを目指しております。海外においては、米国や欧州が好調を持続しておりますが、他の地域は引き続き停滞状況にあります。各地域での優位性を生かした商品の開発・生産を進め、今後の売上増加、効率化に寄与させてまいります。

その結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結売上高は、中国・アジア新興国の売上減少及び円高に伴う為替換算影響による米国の売上減少などにより531億1千7百万円（前年同期比11.4%減少）となりました。利益面につきましては、持分法適用関連会社に対するのれん相当額の償却及び為替変動の影響により、営業利益は22億4千3百万円（前年同期比6.3%減少）、経常利益は13億3千3百万円（前年同期比46.1%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億1千9百万円（前年同期比55.2%減少）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## 〔国内事業〕

国内事業は、売上高は186億3千6百万円（前年同期比2.0%減少）、セグメント利益が1億3百万円（前年同期比59.9%減少）となりました。売上高減少は、フォークリフトが内需・輸出とも減少、海外生産用部品や輸出版部品も減少しました。セグメント利益は、売上高減少と基幹システム導入費用増加などにより減少しました。

## 〔海外事業〕

海外事業は、売上高は344億8千万円（前年同期比15.7%減少）、セグメント利益は21億4千万円（前年同期比0.3%増加）となりました。売上高減少は、米国の売上が円高換算により減少となったことが大きな要因であり、他地域を合わせたセグメント利益は僅かな増加となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は1,912億2千7百万円となり、前連結会計年度末より9億3千6百万円減少しました。流動資産は、受取手形及び売掛金の減少等により51億8千3百万円減少しましたが、固定資産は、投資有価証券の増加等により42億4千7百万円増加しました。

負債合計は1,382億3千6百万円となり、前連結会計年度末より42億7千1百万円増加しました。主な要因は、その他に含まれる長期未払金の増加等によるものであります。

また、純資産につきましては、非支配株主持分および新株予約権を除くと515億1千6百万円となり、前連結会計年度末より50億9千6百万円減少しました。主な要因は、為替換算調整勘定の減少等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成28年7月29日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、平成28年3月31日付で35%取得しましたユニキャリアホールディングス株式会社（現、ユニキャリア株式会社）との協業によるシナジー効果を早期に実現すべく、諸活動を加速してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,282	12,353
受取手形及び売掛金	42,588	38,069
商品及び製品	21,579	19,880
仕掛品	4,668	5,051
原材料及び貯蔵品	10,485	9,502
その他	8,677	8,202
貸倒引当金	△281	△243
流動資産合計	97,999	92,816
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,596	11,829
機械装置及び運搬具(純額)	16,709	16,125
土地	6,328	6,168
その他(純額)	3,113	2,775
有形固定資産合計	38,748	36,899
無形固定資産		
のれん	1,225	977
その他	4,678	4,699
無形固定資産合計	5,903	5,676
投資その他の資産		
投資有価証券	46,190	52,453
退職給付に係る資産	2	1
その他	3,368	3,426
貸倒引当金	△48	△45
投資その他の資産合計	49,512	55,835
固定資産合計	94,163	98,411
資産合計	192,163	191,227

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,507	22,177
電子記録債務	8,567	12,297
短期借入金	65,883	63,242
未払法人税等	632	800
賞与引当金	2,069	1,029
役員賞与引当金	76	10
製品保証引当金	2,773	2,607
その他	12,184	14,596
流動負債合計	119,695	116,762
固定負債		
長期借入金	4,273	4,061
製品保証引当金	289	328
役員退職慰労引当金	14	12
退職給付に係る負債	8,027	7,824
その他	1,665	9,246
固定負債合計	14,269	21,474
負債合計	133,964	138,236
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,890	4,890
資本剰余金	35,842	35,842
利益剰余金	10,771	10,220
自己株式	△26	△26
株主資本合計	51,479	50,927
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,547	1,150
繰延ヘッジ損益	—	△113
為替換算調整勘定	3,473	△555
退職給付に係る調整累計額	112	107
その他の包括利益累計額合計	5,133	588
新株予約権	112	119
非支配株主持分	1,473	1,354
純資産合計	58,199	52,991
負債純資産合計	192,163	191,227

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	59,949	53,117
売上原価	46,499	40,357
売上総利益	13,449	12,759
販売費及び一般管理費	11,055	10,515
営業利益	2,393	2,243
営業外収益		
受取利息	26	28
受取配当金	52	56
持分法による投資利益	15	—
為替差益	33	—
その他	95	64
営業外収益合計	222	149
営業外費用		
支払利息	126	111
持分法による投資損失	—	621
為替差損	—	317
その他	16	9
営業外費用合計	143	1,059
経常利益	2,473	1,333
特別利益		
固定資産売却益	27	10
特別利益合計	27	10
特別損失		
固定資産処分損	22	19
特別損失合計	22	19
税金等調整前四半期純利益	2,478	1,325
法人税、住民税及び事業税	1,379	1,021
法人税等調整額	△416	△402
法人税等合計	962	618
四半期純利益	1,515	706
非支配株主に帰属する四半期純利益	132	87
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,383	619

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	1,515	706
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	486	△398
為替換算調整勘定	700	△3,209
退職給付に係る調整額	△15	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	△1,081
その他の包括利益合計	1,166	△4,693
四半期包括利益	2,682	△3,986
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,515	△3,926
非支配株主に係る四半期包括利益	166	△60

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	19,026	40,923	59,949	—	59,949
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	6,371	285	6,657	(6,657)	—
計	25,397	41,208	66,606	(6,657)	59,949
セグメント利益	259	2,134	2,393	—	2,393

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	18,636	34,480	53,117	—	53,117
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	4,741	57	4,799	(4,799)	—
計	23,377	34,538	57,916	(4,799)	53,117
セグメント利益	103	2,140	2,243	—	2,243

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (6) 重要な後発事象

該当事項はありません。